

大野小の特色

「地域の中で育つ子どもの育成」をめざして

創立125年の歴史ある大野小学校は、学校教育の推進に使命感と誇りをもち、家庭と地域の方々との双方向性の高い心の交流を土台とし、地域と教職員がひとつになって、「生き生きと意欲的に活動する児童の育成」を推進します。

一人一人の子どもが楽しい居場所として感じられるような学級の中で、人間性豊かで進んで学ぶことができる子どもを育てます。



守谷市学校教育プラン

- ・ステップアップ **【確かな学力の育成】**
- ・ハートフォーヒューマン **【豊かな心をはぐくむ教育の推進】**
- ・ヘルス&フィジカル **【健康と体力をはぐくむ教育の推進】**
- ・ニュージェネレーション **【新しい時代に対応した教育の推進】**
- ・パートナーシップ **【開かれた学校づくりと家庭地域との連携】**

大野小の教育プラン

教育目標

生き生きと意欲的に活動する児童の育成
(人間性豊かなたくましい子ども)

経営の方針

- ・開校以来築き上げてきた家庭や地域社会との信頼関係を基盤にし、連携・協働を深め、開かれた学校づくりを推進する。
- ・信頼し合い協働するチームとして、全職員で、創意と工夫のある教育活動を展開し、一人一人が輝く活力ある学校づくりを推進する。
- ・「認める、ほめる、励ます」の基本姿勢をもち、体験的な活動を推進し、人間性豊かなたくましい児童の育成に努める。
- ・保幼小中一貫教育を推進し、発達段階に応じた連続性のある指導を行う。

重点目標

- ・確かな学力を身に付けさせるために、創意と工夫のある授業を展開する。
- ・認め合いや関わり合いを大切に、楽しく居場所のある学級(集団)づくりに努める。
- ・心身を鍛え、健康や安全に留意し、ねばり強く取り組む児童の育成に努める。

茨城県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
しょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

保幼小中高一貫教育 (きらめきプロジェクト)

目標
「確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくみ、
将来に向かって努力できる児童生徒の育成」
～世界で輝く人づくり～
守谷中学校区の目標
＜個性を伸ばし、豊かな人間性のある
児童生徒の育成＞

- ・交流授業
- ・小学生の部活見学
- ・地域教育力の活用
- ・あいさつ運動の推進
- ・文化部交流
- ・小中作品交流 等

自ら学ぶ子を育てるために

ステップアップ ニュージェネレーション

- ◆◆ 確かな学力の定着と創意・工夫ある教育活動 ◆◆

- ★正しい学習習慣とともに、基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得を図る。
- ★言語活動の充実と学び合う授業で、考える力と表現する力を育てる。
- ★家庭学習の習慣の定着と充実を図る。
- ★全担任による授業研究と協議を行い、校内研究を推進する。

＜具体的な取組＞

- 算数科における複数支援体制と高学年理科教科担任制の実施
- 学習形態の工夫とICTの活用
- スキルタイムと、スキルテストの有効活用
- 意見を交流し合う場の設定、話し合い活動のスキルの定着と充実
- 読書タイムの確保、読書カードの活用、読書量の向上
- ALTとの効果的な協力体制を基にした、外国語活動の充実
- 「学びのプラン」や「家庭学習のびき」の有効活用

＜具体的な目標＞

- ・学力診断テスト平均正答率の向上
- ・年間50冊読破者数70%
- ・スキルテスト全員合格
- ・家庭学習時間(学年×10+10分)90% 達成

思いやりのある子を育てるために

ハートフォーヒューマン

- ◆◆ 認め合いや関わり合いを大切に、楽しく居場所のある学級づくり ◆◆

- ★基本的な生活習慣を身に付けさせ、人間関係づくりの基盤をつくる。
- ★人権尊重の精神を育成する。
- ★特別支援教育や生徒指導体制の充実を図る。

＜具体的な取組＞

- 「あじみそ運動」の推進
- 相手を思いやる言葉遣いと、「ありがとう」の指導
- 「私たちの道徳」を活用した道徳の授業の充実と道徳コーナーの工夫
- 一人一人の良さを認め、励まし、ほめ、伸ばすことによる自己肯定感や自尊感情の育成
- 互いに認め合う学級(集団)づくり
- 校内委員会の活用と校内研修の充実、インクルーシブ教育の推進
- 児童に関する適切な情報交換と情報共有、同一歩調による指導

＜具体的な目標＞

- ・学校を楽しんでいる児童 90%以上
- ・大きい声であいさつをする 85%以上
- ・縦割り班活動 年5回以上実施
- ・友達を「さん」づけで呼ぶ 100%

たくましい子を育てるために

ヘルス&フィジカル

- ◆◆ 心身を鍛え、健康や安全に留意し、ねばり強く取り組む児童の育成 ◆◆

- ★危機回避能力を育成し、自分の命を自分で守る力を育てる。
- ★体育的行事や授業の充実を図り、たくましい心と体を育む。
- ★食に関する教育を推進する。

＜具体的な取組＞

- 交通安全、生活安全の日常的な指導と見直し
- 各種行事(交通安全教室、情報モラル教室、防犯教室、小中連携避難訓練 等)の充実と、学校と家庭との連携・協力
- 外遊びの励行と学習カードを活用した授業の工夫
- 「投げる」運動の推進
- タグラグビーの段階的実施
- 昼食後の歯磨きタイムの充実
- 米作り体験学習の推進と、正しい食習慣の育成

＜具体的な目標＞

- ・体力テストA+Bの人数 50%以上
- ・元気に外遊びをした児童 90%以上

子どもの成長を共に喜び合うために

パートナーシップ

- ◆◆ 開かれた学校づくり ◆◆

- ★学校からの情報発信の充実に努める。
- ★保護者・地域の教育力を学校教育に生かす。
- ★気軽に安心して相談できる教育相談体制づくりに努める。

★小中一貫教育の推進

＜具体的な取組＞

- ホームページの定期的な更新と学校便りの地域への回覧の継続
- メルマガの積極的活用による、情報提供の適時性や利便性の向上
- 地域の教育力を生かした教育活動の充実(米づくり、授業、大野文庫など)
- 登下校時の交通安全指導や、全保護者の協力を得て行う下校時の付き添いの継続
- 保護者面談(7月)と児童との面談の実施(9月)
- 見守りボランティア会議の実施による、登下校時の児童の見守りの体制の強化
- 心の教室相談員との連携、積極的な活用
- 保幼小中、小小の交流活動の充実

＜具体的な目標＞

- ・ホームページ閲覧者数毎日80回
- ・関係機関や地域や家庭と連携した行事 年5回以上

地域に根ざした学校であり続けるために